

入学式式辞

平成20.4.7

桜が満開となり、春の香りが満ちあふれるこの良き日、ご来賓の皆様・地域の皆様をお迎えして、戸坂中学校 第36回入学式を挙行できますことは大変ありがたく心よりお礼申し上げます。また、保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。今日から、お子さまをお預かりいたします。皆様方のご期待に応えるよう教職員一同、懸命に頑張りたいと存じますので、ご理解・ご支援くださいますようお願い申し上げます。

さて、新入生225名の皆さん入学おめでとうございます。今日から戸坂中学校の1年生です。そして、中学校生活3年間の始まりの日です。この3年間は、心も体も大きく成長する時です。それだけに、一生の中でも特に大切な時期だと思えます。

今朝皆さんは、咲き誇る桜や山々の木々の芽吹き、鶯の声・小鳥のさえずりに迎えられ心を弾ませて登校したものと思います。また、この高台からは眼下に太田川を望め、のどかな瀬戸内の島々が目に入ってきます。どれをとっても心和む思いがします。実に自然環境に恵まれた学校です。また、戸坂中学校では、君たちの先輩が思いやりと素直な心・大きな夢を持って生き生きと活動しています。

皆さんの輝く目を見ていれば、今更付け足す言葉は必要ないと思いますが、晴れの門出の日でもありますので、皆さんの新しい出発への激励の意味で二つ話をしておきます。

一つは「己の欲せざるところは人に施すなかれ」と言うことです。戸坂中学校は3つの小学校から入学してきます。皆さんのよく知っている『サンフレッチェ』は三本の矢という意味があります。これは戦国の武将毛利元就が、三人の息子を集め、一本の矢を取り出してこういったそうです。「一本の矢を折ろうとすれば容易におれてしまう」と、そうして、今度は三本の矢を束ねてこういったそうです。「しかし、三本の矢を束ねると折ろうとしても容易に折ることはできない」と「もしおまえたち兄弟が協力することをしなかったら、毛利家は倒れるであろう。しかし、この三本の矢のように兄弟三人が力を合わせれば、毛利家は倒れることはないであろう」と言ったそうです。

このように3小学校から入学した皆さんは、みんなで協力して楽しい学校生活を作り上げて欲しいと思います。そのためには、「己の欲せざるところは人に施すなかれ」と言うことです。自分がして欲しくないことは人にしないと言うことです。

次に皆さんにチャレンジして欲しいことを話します。

「時（時間）を守り、場を清め、礼を正す」と言うことです。

時を守るとは、遅刻をせず余裕を持って登校する。

授業開始のチャイムには準備が整っている。掃除の取りかかりを時間通りにし、時間いっぱい活動する等です。

場を清めるとは、教室や廊下・トイレ・下足場などを美しく清潔にする。学びの場にふさわしい態度・服装にする等です。

礼を正すとは、朝夕の挨拶を家庭・地域・学校できちんとさわやかにする。授業の始めと終わりの挨拶を心を込めてきちんに行う等です。

以上のことを先生方とともに取り組んでいきましょう。

それでは、皆さんの活躍と健やかな中学校生活に夢を託し式辞といたします。

平成20年4月7日

広島市立戸坂中学校長
山岡壯吾